

# 山陰門推協会報

第10号

# ともしび

—— 発行 ——  
 浄土真宗本願寺派・山陰教区  
 門徒推進員連絡協議会  
 代表者 松浦 靖

—— 事務局 ——  
 〒690-0002 松江市大正町443-1  
 本願寺山陰会館内



〈写真〉第四連区門徒推進員研修協議会  
 於 四州・塩屋別院

## 内容

- 2頁〜5頁……寄稿、新門徒推進員紹介
- 6頁〜7頁……新会員の声
- 8頁〜9頁……事業報告・事業計画
- 10頁……同朋の広場

## 新しい教章をいただいて思うこと

山陰教区相談員 朝枝俊円

昨年四月に新しい『教章』が  
 発布されました。その中の「教  
 義」として示されているお言葉  
 をいただくとき、『歎異抄』の  
 「浄土の慈悲といふは、念仏し  
 て、いそぎ仏になりて、大慈大悲  
 心をもつて、おもふがごとく衆  
 生を利益するをいふべきなり」  
 という一節を思い浮かべます。

さて、恵信尼さまのお手紙が  
 あります。そこには恵信尼さま  
 のご苦労を見て取れるお手紙  
 が数通あります。

ご夫婦には六、七人の子ども  
 さんがおられたといえます。娘  
 の高野禅尼、小黒女房や益方入  
 道の妻も亡くなられたようで、  
 お孫たち数人を養育しておら  
 れたようです。けれども、たび  
 重なる飢饉などで食べる物が  
 なく、着物を売って孫たちを養  
 っていることや、使用人が逃げ  
 出して田畑を耕作する人もな  
 くて難儀をしておられること  
 など、本当にご苦労の様が見て  
 取れます。

さらに悲しいことには、京都  
 においての覚信尼さまとも、お

別れになって久しく時が過ぎ  
 ているようで、まだ見ぬ孫に会  
 って見たいということも認め  
 られています。そして老境の身  
 で、今生では会うことができそ  
 うもないから「お浄土から拝見  
 させていただけよう」ともおつし  
 やっておられます。

私たちの人生には、多くの苦  
 難があり、悲しみに出遭ってい  
 かなければなりません。そし  
 て、その苦難や悲しみを私一人  
 が受けていかなければならな  
 いことは、經典に「代わる者な  
 し」「従う者なし」と諭されて  
 います。

けれども、背負いきれないほ  
 どの苦難に遭って、担いきれな  
 いほどの悲しみに遭って、「こん  
 な思いをするのは私一人で沢山  
 だ」という思いが生ずるとき、  
 深い深いお慈悲の心の種が芽  
 生えてくるのかもしれない。  
 この慈悲心が、一人ひとりの  
 苦悩に寄り添う心となり、また  
 心豊かにいきることのできる  
 社会を築いてゆく礎になるの  
 ではないかと思えます。

寄稿

共に歩もう  
教務所職員から



教務所でみる具体的事例がひとつだけあります。毎月二十一日前後に、午後一時三十分から本願寺山陰会館で、教区のご講師をお招きして、常例法座「灯映会」を開催しています。松江市内の寺院のご門徒を中心に、現在は平均二十名程の方にお参りいただいています。

「灯映会法座」  
山陰教区教務所賛事  
窪田 隆道

教務所の事務室から、門徒推進員さんの活動を眺めて、率直な意見を書いて下さいとのことですので、少しばかり思うところを書かせて頂きます。いつも思うことは、門徒推進員の皆さんが教務所にいらっしゃる時に、とても爽やかな笑顔でいらっしゃることです。姿形にその人の内面が映るとすれば、穏やかな笑顔や短いあいさつの言葉に、人となりを垣間見る気が致します。会って一言あいさつを交わすだけで、こちらの方まで自然に穏やかになり、頭の下がる思いになる人が確かにいらっっしゃいます。

染香人のその身には  
香氣あるがごとくなり  
これをすなわちなづけてぞ  
香光莊嚴とまうすなる(浄土和讃)

その中に門徒推進員の方が多く参拝されているようです。積極的に聴聞に励まれる姿は、何も語らずとも周囲のご門徒さんや我々若い教務所の職員にも良い影響を与えてくださいます。その方々の後姿に念仏を大切にされる様子、よろこぶ姿が香ってくるようです。

ただし、一つだけ苦言を呈しますと、以前に比べて正信偈のおつとめの声が小さくなってきている気がするのです。その理由は、常例法座「灯映会」の参拝者数の減少が影響していると思います。

そこでお願いがあるのですが、松江市内の方だけでなく、近隣の方、遠方の方も是非ご参拝頂けないでしょうか。毎月山陰中央新報(イベントのコーナー)に灯映会の案内を掲載して頂いておられますので、遠方の方は松江観光を兼ねても結構だと思います。お参り頂ければと思います。共にお念仏をよろこぶ朋として、後進を導いてくださることをお願い申し上げます。

新しく門徒推進員になられた方々

新しく門徒推進員になられた方々を紹介します。

質問

- ①氏名(ふりがな)
- ②所属寺
- ③門徒推進員としての決意
- ④門徒推進員としての現在の活動
- ⑤門徒推進員としての悩み
- ※掲載順は登録番号順

⑤悩まない程度にやっています。

登録番号19482

- ①青木初枝(あおきはつえ)
- ②神門組 長泉寺
- ③お寺の行事に参加すること
- ④お寺の各行事のお手伝いをさせて頂いています。
- ⑤現在、仕事を優先しているため、満足な活動ができにくい事。

登録番号19483

- ①青木良夫(あおきよしお)
- ②神門組 長泉寺
- ③お寺の活動に積極的に参画し、お寺の仲間を増やしたい。
- ④広報誌(寺報)の発行。各行事のお手伝いをさせて頂いています。
- ⑤若い人達にもっとお参り出来るような、ご縁作りの活動がむずかしい。

登録番号19484

- ①泉原省三(いずみはらしょうぞう)
- ②大家組 願林寺
- ③仏社も連盟化されましたので他の教化団体と連携して組織の拡充につとめたい。み教えを信じ家庭や地域で念仏の輪を広げたい。
- ④所属寺の総代として率先し寺院の活

- ④仏教婦人会活動への参加。
- ⑤思いと行動を一致させることを出来るにしている(現実がある)こと。

登録番号19480

- ①遠藤 毅(えんどうつよし)
- ②出雲組 東林寺
- ③年間法座に進んで聴聞します。
- ④総代として寺報の編集や運営委員会事務局の役割をいただいています。
- ⑤一人でも多くの門徒のみなさんに聴聞を呼びかけます。

登録番号19481

- ①藤原忠男(ふじはらただお)
- ②出雲組 東林寺
- ③できるだけ多数の門徒さんと会話をする。
- ④まず足元から、地区内の門徒さんと機会あるごとに、お寺へ行きましよう誘っている。

登録番号19477

- ①高橋英行(たかはしひでゆき)
- ②出雲組 西念寺
- ③お寺の行事に積極的に参加する。
- ④お寺の会計係を7年間しています。
- ⑤お寺でどんな行事をしたら子供を含めた若い人に関心を持って参加してもらえるか。

登録番号19478

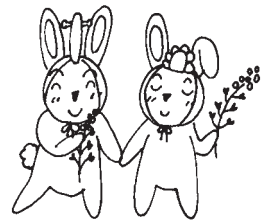
- ①手銭盛隆(てぜんもりたか)
- ②神門組 乗光寺
- ③お寺とご門徒につくします
- ④お寺へのお参り
- ⑤時間がとれず参加できていない

登録番号19479

- ①秋吉由紀子(あきよしゆきこ)
- ②因幡組 願正寺
- ③浄土真宗の教えを学ぶことに努めたいと思います。

寄稿

共に歩もう  
僧侶の声



共に御同朋の歩みを

飯石南組長

玉野 覚明

親鸞聖人七五〇回大遠忌法要を二年数ヶ月後に控え、団体参拝の計画を準備する頃となりました。

この期に組長を引き受けたことの「重大さ」を、ようやく実感しているところです。その最中「ともしび」への突然の寄稿の依頼にしばらくはパニック状態。気を取り直して、組連研そして本山の中央教修に関わらせていただいたことの私の思いを、書いてみたいと思います。

当組では現在、連研スタッフも新たに第十二期を開催中で、門徒推進員の方にもスタッフの一員としてお世話をしていただいています。

私自身、第六期頃より連研に関わらせていただき、その頃より中央教修へも数回、お手伝いをさせていただく

縁がありました。

組連研を修了され、全国より本山へ参拝・集合された教修生の方々には、不安の中にも新たな歩みへの期待が満ちあふれていたことを思い出しました。

親鸞聖人は『歎異抄』の中で「おのおの十余箇国のさかひをこえて、身を命をかへりみずして、たづねきたらしめたまふ御ころざし、ひとへに往生極楽のみちを問ひきかんがためなり。」と門弟達の聞法の姿を偲ばれています。組連研にしても中央教修にしても、それぞれに「お浄土への道」を問ひ聞かんがためのご縁ではなかつたでしょうか。

僧侶の私達にとつては、門徒推進員の存在はたのしいパートナーであり、組にとつても今やなくてはならない存在です。

日々、不安や迷いを抱えながらの私達ですが、「お浄土への道」をお聞かせいただき、「如来の大悲にいだかれて、安らかに日々をおくる」ことをよろこばせていただきながら、共に御同朋の歩みをさせていただきたいものです。門徒推進員の皆様には、宗祖の大遠忌法要を機縁に、御同朋の社会をめざして「より一層のご法義活動のお手伝いをいただければ有り難く思います。

登録番号19490

- ①島田真知子(しまだまちこ)
- ②松江組 真光寺
- ③私は、お寺の行事にすすんで参加し、学んでいくことを誓います。
- ④21年間初心者向け「法輪会」と「正信偈会」に所属。退職して7ヶ月。現在「中央教修」を終え、一步一步活動をし始めた所です。
- ⑤運転免許がないので、行動に制限があること。

登録番号19491

- ①西尾 薫(にしおかおる)
- ②出雲組 妙壽寺
- ③お聴聞に努め、自分にできることで、お寺のお役に立てればと思います。
- ④門徒推進員になって間がないので、今後、各種会合、法座に積極的に参加したい。
- ⑤門徒推進員になって間がないので、まだ分かりません。

登録番号19492

- ①西尾寿穂(にしおひさお)
- ②出雲組 妙壽寺
- ③過日山陰教区より委嘱状を戴き心新たにお寺参りを推進し再度決意致しました。
- ④中央教修が終って2ヶ月余りですが

登録番号19487

- ①河村賢治(かわむらけんじ)
- ②江津組 円勝寺
- ③私自身も勉強をしていくとともにお寺や門徒の方々に協力していきます。
- ④円勝寺仏社の事務局をさせていただいています。江津組10期の連研に引き続き参加していきます。自宅の近くの大家組の集まりにも参加しています。
- ⑤あまりありません。

登録番号19488

- ①藤原 裕(ふじはらゆたか)
- ②神門組 明教寺
- ③お寺と新しい仲間の輪を広げていきたいと思ひます。
- ④仲間へ声掛したり、法座に積極的に参加しています。
- ⑤仏法の話をする時に、出雲地方では神様の存在を大きく感じます。

登録番号19489

- ①木ノ下晴重(きのしたはるしげ)
- ②温泉津組 西楽寺
- ③自然体での推進
- ④門徒・総代・門徒推進員として参加
- ⑤なし

性化につとめている。「友を誘うことが第一歩」  
⑤少子、高齢化により後に続く人が少ない。

登録番号19485

- ①中西義昭(なかにしよしあき)
- ②温泉津組 瑞泉寺
- ③お寺に参るよう努めます。
- ④お寺の総代や組の総代部役員。
- ⑤年中行事に出席できないことがある。

登録番号19486

- ①湯丹 勝(ゆたんまさる)
- ②千須賀組 永照寺
- ③無力ではあるけれども、高齢・少人数の門信徒でお寺を守っていくこと。若い次世代の役員を育て、お寺を守る人を育てる。
- ④お寺参りをする事。聴聞のある時、参った人との交流を通して、一人でも多くのお参りがあるように先頭に立つこと。お寺の維持管理に気を配り、お金がかからないようにしたい。
- ⑤小さな集落であり、平均年齢も高いことから、お寺を支えていくことが、お金のことも含めてむずかしい。



寄稿

共に歩もう  
門徒推進員  
連絡協議会



新「教章」をいただいで

山陰教区門徒推進員連絡協議会

会長 松浦 靖

本願寺新報によると平成二十年四月十五日「春の法要(立教開宗記念法要)」で親教を述べられました。宗祖親鸞聖人の御誕生八百年・立教開宗七百五十年を迎えた一九六七年(昭和四十二年)四月当時の宗門を憂えられた大谷光照門主が「浄土真宗の教章」を定められ、親鸞聖人の流れをくむものとして、心に銘ずべき肝要を示されました。以来四十年余りそのご教示は、浄土真宗門徒の信仰生活の模範となってきました。一方、宗門は一九四六(昭和二十一年)に制定された「宗制」を根本にして活動してきましたが、このたび「宗制」が改正され、時代を超えた不変のことからと時代に即応すべきことがらが整えられました。それにもなつて、新しい教章を制定いたします。と述べられたことと味わっています。

門主さまは、「浄土真宗の教章(私の歩む道)」とされ、教義で阿彌陀如来の本願方によって信心をめぐまれ、念仏を申す人生を歩み、この世の縁が尽き

るとき浄土に生まれて仏となり、迷いの世に還つて人々を教化する。と頂くことは、謹んで浄土真宗を按ずるに、二種の廻向あり、一には往相、二には還相なりとは、「教行信証」(教巻)の冒頭の真宗大綱の文であります。ここに浄土真宗とは、まさに往生浄土の相(往相)と還来穢国の相(還相)が如来のめぐみ(廻向)によって与えられる教であることも、鮮やかに告げられています。もし、浄土に往生されることの方がたしか説かれなかつたならば、それは浄土真宗ではないということになるのです。浄土真宗の救いは、還相廻向によって完結するということになります。

このように聖人の浄土真宗において、「この世」は、ひとときも早く阿彌陀如来の本願にうなずき、完全な慈悲の行のできる「証」の世界に向かいつつ「たまりたる信心の必然としての利益のなかに、いのちを尽くし、まさに常行大悲といわれる報恩の行、利他の世界に生きぬく道であったのであります。と再び教えて頂きました。

現在生かされている私が、まさにこの教章でお示しのとおり日常生活においては、親鸞聖人の教えにみちびかれて、阿彌陀如来のみ心を聞き、念仏を称えつつ、常にわが身をふりかえり、慚愧と歡喜のうちに、現世祈禱などにたよることなく、御恩報謝の生活を送ること、宗門としては親鸞聖人の教えを仰ぎ、念仏を申す人々の集う同朋教団であり、人々に阿彌陀如来の智慧と慈悲を伝える教団である。それによって、自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する。ともに世の安穩をめざしていくことが私の歩む道であると深くお味わいさせていただきました。

動している。  
⑤門徒推進員として、私の出来ることは何か模索中です。

登録番号19497

- ①湯浅和夫 (ゆあさかずお)
- ②出雲組 妙寿寺
- ③聴聞にはげみます。
- ④仏社会員
- ⑤お寺の(現在勤務しているので)お手伝いができないのが悩み。

登録番号19498

- ①湯浅美恵子 (ゆあさみえこ)
- ②出雲組 妙寿寺
- ③寺院活動に参加して門徒の方と親しくなりより良いお寺になるよう手助けをしたい。
- ④お寺にお参りして聴聞に励む。毎月1日開催の「寿音の会」に参加する。
- ⑤昼間、職場に勤務しているので思う様に活動に参加出来ない。

登録番号19499

- ①栃木 彰 (とちぎあきら) (釈威徳)
- ②出雲組 源光寺
- ③親鸞聖人のみ教えに信順し、ご住職、門徒推進員のみなさまとともに基幹活動を実践してまいります。

今まで静かに聞かせていただくことと思っておりましたが、活動となると1人や2人では難しいと思われま。門徒推進員のメンバーが多くなるように声かけをさせていただきたいと思ひます。

- ④なし
- ⑤なし

登録番号19495

- ①加本孝之 (かもとたかゆき)
- ②神門組 善福寺
- ③お寺で法座がある時には、仲間を誘い合ってお参りしたいと思ひます。
- ④お寺での仏社会活動や『記念法要、仏具磨き、報恩講、除夜会』等々にお参りし、誘いをしています。小さいことから、出来ることから行い、基幹運動の推進に時を過ごしています。
- ⑤人の前で話し語りが苦手下手で赤面になりやすい。自覚をして、基幹運動推進につとめます。

登録番号19496

- ①曾田洋子 (そたようこ)
- ②出雲組 妙寿寺
- ③時間の許す限り聴聞に出掛けたいと思ひます。
- ④お寺の諸行事に参加し、お寺の方、先輩門徒推進員の方々といっしょに活

活動と言えば秋の彼岸会、報恩講の法要の聴聞に参加した事です。これからもどんどん参加したい。  
⑤まだ2ヶ月余りと期間が短くまだこれといった悩みはありませんがこれからいろいろと出てくるように思ひます。

登録番号19493

- ①山根健二 (やまねけんじ)
- ②出雲組 龍善寺
- ③中央教修での決意表明をしました。その具体的な行動は、お寺の住職さんとよく話し合いをして進めていきたいと思ひます。
- ④報恩講のご縁に遇って、仏法聴聞させていただき、これからも寺の法座に積極的に参加していこうと思ひます。法座に1人でも多くの参加への声かけをしていきたいと思ひます。
- ⑤門徒推進員として登録されたけれども、お寺の行事と門徒推進員としてのどのような係りを持っていくべきかを、これからの課題として考えていきたいと思ひます。

登録番号19494

- ①山根さと子 (やまねさとこ)
- ②出雲組 龍善寺
- ③まず私が浄土真宗の門徒にさせていただいた自覚からと思ひます。

山陰教区門徒推進員連絡協議会  
役員名簿

役職	名前	組名
会長	松浦 靖	松江
副会長	田中 圓而	大田
会計	上田 克夫	神門
理事	今岡 力	出雲
理事	坂本 光弘	出雲
理事	安部 賀就	神門
理事	柳原 陽二	飯石南
理事	安食 英夫	飯石北
理事	長野 矩広	温泉津
理事	森田 勝	邑智西
理事	長田 幸男	浜田
理事	三村 善信	因幡
監事	名免良広秋	松江
監事	景山 三郎	飯石南
参与	日野 実	出雲
参与	遠藤 英逸	神門
事務局	朝枝 俊円	職員

報恩講の聴聞でお話しされるのは、今誰も仏様に抱かれていたのですよと呼びかけて下さいます。他力本願と頭では理解していても自分が納得しないといけない私、時々、五人の孫(三才)小学五年生)と一緒に時を過ごすことがあります。孫達だけで遊ぶ時、一同が私にもぐれついて来る時共に手をとりあって走ったりします、これは計画的な行動ではなく自然の流れころぶこともありすが、手をつないでいるのでまた立ち上っています。ともしびの原稿依頼を受けました。が、活動らしきものはしていません。何を書いてよいか、二〇〇五年二月、第一六五回の中央教修を受けて門推の仲間させていただきました。浜田組では、組の協議会に加入、総会と研

**寄稿**

**私の活動**

ビハーラと  
門徒推進員

浜田組門徒推進員連絡協議会  
砂川幸子

修会(組連研参加)、お寺の法要の際は、お茶の給仕、山陰教区の行事、運動にはつとめて参加させていただいています。門徒の仲間から誘われてビハーラ会員にもなりました。何かをしなればと悩む時もありました。ある日本願寺新報に「楽に生きる」と題して龍大の友久先生が「ビハーラ活動はさせていただいている活動であり、してあげて活動ではない、仏さまが私を働かせてくださる活動」と書かれてありました。今は孫と遊ぶような心で参加し、特別養護施設にも仲間と時々訪問しています。

人は家族やよき理解者にめぐりあい、愛し願われていて心の絆を感じる時、寂しさが和らぐ「ぬくもり」と「おかげさま」に気づかされています。聴聞しているといろんな事に気づかされ、そしてはじめての一步が感じられ、自然に足・声・手が動いていきます。「またお参りしましょうねの声がけ」ぬくもりを感じます。

お寺に足を運び聴聞を重ね、阿弥陀さま・住職・坊守さん達に肩をたたく、押され同朋の動きの御縁をいただいで、一日を生かさせていただいてお

- ④191中央教修参加会員との和を広げ、組の寺をお参りしながら自分出来ることを行っています。
- ⑤寺参りに対して声掛けしても参加の声が出てこない。

**登録番号19505**

- ①竹内清光(たけうちせいこう)
- ②邑智西組 光西寺
- ③お寺の手伝い頑張ります。
- ④帳場、送迎等
- ⑤未だなじめない。

**登録番号19506**

- ①谷川紀男(やがわのりお)
- ②邑智西組 天藏寺
- ③10月に門徒推進員になる為に西本願寺に行かせていただきました。皆様の心の決意、私も親鸞聖人のおしえを守ろうと思ました。皆様のように。
- ④お寺のせわをさせてもらっています。遣りがいがあります。
- ⑤悩みはありません。  
南無阿弥陀仏

**登録番号19502**

- ①服部綾子(はっとりあやこ)
- ②邑智西組 善教寺
- ③心から手を合せて、お念仏をとまえ、浄土真宗の生活信条に近づくような自分になるように努力いたします。
- ④進んでお寺の手伝いや皆さんに声がけし、ご一緒に聴聞することです。
- ⑤お勤め、子育ての人達はなかなかお寺に足を運ぶことの少ないことですが、先輩さんに習ってお参りして行くようになったら良いと思います。

**登録番号19503**

- ①児玉昭江(こだまあきえ)
- ②邑智西組 浄泉寺
- ③1人でも多くの皆様に声かけをし、お聴聞に出会い、また仏教讃歌を誦行し、仲間作りをして行きたい。
- ④毎月1回の仏教讃歌の集い。聴聞に出合う。
- ⑤はっきりと解らないため先輩の皆さんと会って話して見たい。

**登録番号19504**

- ①石田雅春(いしだまさはる)
- ②邑智西組 光西寺
- ③身近な家族との話し合える場を作りその話し合える場を地域に広がっていきます。

- ④源光寺清涼仏教青年会幹事として教化団体活動に参加しています。
- ⑤若い世代の基幹運動への参加が少ないことです。仕事、子育てに忙しい世代の方にもさらに参加しやすく御同朋の輪が広がる活動になるよう努めてまいります。

**登録番号19500**

- ①名原幸子(なばらさちこ)
- ②飯石北組 福泉坊
- ③まずお寺の土を踏み清掃からはじめようと思います。  
若い方々を誘い聴聞を重ねていきたいです。お寺にお参りしたいという気持ちになれるような楽しい雰囲気を作りたい。  
浄土真宗のみ教えをしっかりと自覚し、皆様と共に歩んでいきたい。
- ④仏婦活動でお寺の清掃をしました。
- ⑤まだわからないことばかりですので、先輩の方々のお話を聞き、教えていただきたいです。

**登録番号19501**

- ①藤田享子(ふじたきょうこ)
- ②邑智東組 高善寺
- ③お寺のお手伝い。ボランティア活動。
- ④清掃・仏具磨き・お齊お手伝い。
- ⑤司会係が気になります。



### 縁による仲間

因幡組 願正寺

秋吉 由紀子

門徒推進員中央研修を終了してから、丁度一年が過ぎました。振り返りますと、沢山の素晴らしい体験が鮮やかによみがえります。

ご院家様のお誘いから中央研修への道が拓かれましたが、「無知な自分に気づかされる連続」を引きずったままでの道でした。しかし、その不安は他地域の方々との出会いへの期待が賑らむと共に少しずつ薄らいでいきました。

本願寺での四日間は、緊張の中、有意義で貴重な研修でしたが、話し合い法座はそこに楽しさの加わった暖かい時間でした。法座において、北から南からの班の皆様はよく勉強されていて『であい・神・差別・浄土』という大きく難しいテーマを身近かな問題として話し合うことから学ぶことが出来ました。又、今までになく心開いて会話でき、同じ輪に入れていただいたという思いも感じました。

数日前、一年振りに先生を囲み、班員再会が実現しました。遠く離れていても先生・班の皆様は暖かく、色々と導いて下さる仲間であると嬉しく思いました。これも阿弥陀さまによる縁であることを感じ、感謝の心でいっぱい입니다。

### 門徒推進員中央研修を受講して

大家組 願林寺

泉原省三

四十年にも及ぶ公務員生活を終えて、残された命ははたして何年あるだろうと考えた時、ここに生きる事の意味を問わずにはおれなくなりました。静かに反省してみると、職場においては決まりを守り、与えられた仕事をこなし、貢献してきた気持ちもあります。が、反面組織に生きるが為に、自己自身を失い、他人に対する気配りや人権をも無視してきたような気がしてなりませんでした。そんなとき中央教修の機会に恵まれ、三泊四日の浄土真宗のみ教えいただきながら、人間として本當の社会貢献の道を教えていただいたことに感謝しています。中央教修では全国から集まった仲間と信仰の感動を語り、夜ふかしした事が思い出されます。四日間の教修でしたが仲間と別れるとき、涙して手を握ってくれたことがうれしくて、いまでも忘れられません。物の見方、考え方に大きな変化が生まれた教修でした。

### 風のガーデンを見て

松江組 真光寺

島田 眞知子

テレビドラマ「風のガーデン」をご覧になりましたか。まだ十話のうち、五話の放送ですが、根底には生老病死があると思われれます。そして癌告知を医者である息子は自分にし、やっとの思いで受け入れ残りの人生を考えた時、父と二人の子供に会いたいと古里に向います。息子を演じる中井貴一と父親を演じる緒方拳さんの姿が重なり切ない思いがしました。私も毎回一緒に時間をどう過ごしたら良いのか考え込んでしまいました。いろいろな人の助けを受けながら、趣味のチェロに励まされて生きている息子を、美しいガーデンの中に在宅での看取りの安らかな姿を見せながら、また医療現場での癌による痛みを取って家族と一緒に過ごす姿も見せながら進んで行きます。緒方拳さんは、息子と自分自身に真剣に向き合い、悟りという答を出すのでしょうか。医師であり患者であるその先には何があるのか私は見届けたいと思います。 合掌

### 一七六回教修生として

松江組 明宗寺

原 勢智子

中央教修を受講させていただいてから二年余り不安な気持ちで西本願寺

聞法会館へ着いたこと今でも思い出されます。全国から五十二名の受講生皆様と三泊四日、講師の諸先生方にやさしくご指導いただき無事終了する事が出来ました。

帰敬式、決意表明は厳粛な中、阿弥陀如来さまの御前で緊張し、感動した事は忘れる事は出来ません。

一緒に学んだ一七六回生としての同期会も発足しました。二十年度は九月中旬に東京の築地本願寺に一泊二日で集合しました。二十三名でしたが夕食会ではそれぞれの活躍ぶりをお聞きし、私も改めて責任を感じました。

翌日は晨朝勤行を終えて、バスで親鸞聖人さまがご本典「顕浄土真宗教行証文類」「正信念仏偈」を顕わされたという、茨城の西念寺「稲田草庵」を訪ねた後、歎異抄にゆかりの報仏寺をお参りしました。短かい教修期間でしたが、一七六回生として次回の約束し解散しました。

一昨年は病いで姉を亡くし、浄土真宗のみ教えで救われました。聴聞お念仏に励み門徒推進員として自覚し協力したいと思えます。

### 門徒推進員中央教修に参加して

江津組 円勝寺

河村 賢治

今年二月、本願寺で開催されました第一八六回門徒推進員中央教修に大家組、願林寺総代の泉原省三さんと参加しました。中央教修は三泊四日で、晨朝参拝に始まり夜は九時まで研修があり、各御講師の講話、法座や音楽



法要の研修などがあり、充実した四日間  
の研修でした。そして、同年代に組  
んでいただいた部屋での、夜遅くまで  
の話も楽しかった思い出です。三日目  
の夜の決意表明式は緊張しました。し  
かし今、あの時述べた言葉が自分の責  
任と思い仏様に参加しています。

浄土真宗は易しいようで難しい教  
えだと改めて思えた一方、よりお寺に  
行きやすくなった思いです。今、私は  
円勝寺仏社の事務局をしています。こ  
れからも少しでも多くお寺に通い、  
いろいろ経験をしていきたいと思ひ  
ます。そして、仲間もつくっていき  
たいと思ひます。

『おみがき』にて想ひごと

出雲組 妙壽寺

伊藤 繁 満

午前八時三十分、一堂に会し、ご住  
職からのご挨拶、注意事項があり早  
速、準備開始です。皆様方それぞれに  
慣れた手つきで、素早く準備完了で  
す。畳を挙げて莫塵の上に座るや否  
や、眼前には、大きな輪灯が置かれて  
まいました。うーん、とうなずきな  
がら…これは、この仏具で一日仕事で  
は…と思ひながら眺めていると隣に  
お座りのIさん、前にお座りのTさん  
から「今日は、会長さんがおられんけ  
ん向つてみーだわね」と、進められ作  
業開始となりました。周りの方々と談  
笑しながら作業をすすめ、時間は三十  
分、一時間と経過し磨き用の薬をつけ  
ながら竹串や刷毛で何回も同じとこ  
ろを磨き、時々新調のタオルで拭きな  
がら綺麗になったなあ…と、手褒めし

ていると、反対側の、既に自分の感  
覚では綺麗になったものと思つて  
いた所がまた鈍く光り黒ずんでしま  
した。真鍮製の仏具ですから時間が経過  
し、後日になるとその評価が解ります  
ので、何度も繰り返し力を加えてみ  
ますが、時間の経過が気になり時計を  
見ると既に、正午をむかえつつ針が動  
いています。これでは一つの輪灯が、  
とても今日中には無理かなと考えて  
いたところ、ご住職様のご挨拶の中  
で「ゴシゴシ磨いて手が熱くなるよう  
にならないと綺麗になりませんよ」との  
一言が脳裏に浮かび「よし、これか  
らだ」と気を引き締めて、午後からの  
作業を楽しみにして、昼食を御馳走に  
なり暫くの休憩です。外の天気が羨ま  
しく小春日和です。

さて、本堂には基幹運動のスローガ  
ン「ともに いのち かがやく世界へ」  
が掲げてあります。今日も、多くの方々  
と、おみがきを通してご縁を頂くこと  
に感謝し、お寺に自然と足が運んで行  
くようにと、心新たに致しました。

戦後、宗教教育が廃止され、今、多  
くの人が心のよりどころを求めて  
います。数年前にヨーロッパ四カ国を  
視察した際、週末には老若男女、家族  
全員がお参りする長蛇の列が続き、ど  
このモスクでも礼拝が行われていま  
した。日本ではとても考えられない光  
景で、大切なことではないかと痛感し  
たことを思ひ出しながら、私たちの周  
りには毎日、諸事諸行、多くの憂慮す  
べき事柄が発生し考えさせられます。  
お寺があることに感謝しつつ、束の  
間の休憩を終え、午後一時、いよいよ  
作業再会です。気合を入れて手が熱  
くなるまで、繰り返し行い一気に仕上

げることができました。しかし最後の  
難関は、ご住職の了解を取り付けなけ  
ればなりません。輪灯の片方が午後二  
時頃、見事完了となりました。実に四  
時間余りゴシゴシと入念に作業して  
いたことになりました。  
三時過ぎにはすべての作業が完了と

**寄稿**

---

**会員寄稿**

---

疑心  
大田組 常見寺  
花田 信己

なりました。  
今日も素晴らしいご縁を頂きました。  
親鸞聖人のみ教えに信順し阿弥陀  
如来さまの智慧と慈悲に照らされ、包  
まれているこの私を自覚するご縁を  
頂きました。報恩講にお参りする楽し  
みが一つ増えることとなりました。

映された事があります。イギリスの  
飼い主は、近づくに危ないので、広  
い場所を高い扉で囲み、餌は外から  
投げ入れているとの事でした。ムツ  
ゴロウ氏が、中に入って犬を見たい  
という時、とんでもない噛み殺され  
ると止めるのを振り切つて、一人  
中に入つていかれたが、その後の状  
況は、「親鸞」の中で読んだ聖人の場  
合と全く同じでした。固唾を呑んで  
見ていた私も驚きましたが、飼い主  
はビックリ仰天していました。

これを見て、長い間、創り話とばか  
り思っていたが、聖人の話は本当だ。  
犬でも徳の有る人は判るのか？ 感  
心したり疑っていた自分の根性、現  
実を見せつけられて漸く会得する始  
末。  
何事も僅かな知識、見聞でしか納  
得しない自分に気付かされたテレビ  
番組でした。  
ところで現在、山陰中央新報に連  
載中の五木寛之氏の「親鸞」では、  
どのように表現されるのか今から楽  
しみにしています。

随分前に、吉川英治 著「親鸞」  
を読んだ文章の中で、法友弁円が聖  
人の出世を妬んで殺そうとする場面  
が書かれてあることは大方の方がご  
承知と思います。特に、獐猛な犬を  
けしかけて襲わせ、猛烈な勢いで飛  
んで行つた犬が、聖人の手前まで来  
ると急に穏和になり、聖人が声を掛  
けられると尾を振つて近づき、終に  
は聖人の手をペロペロと舐めた。と  
当時これを読んで私はマサカ？これ  
は、内に厳しく外に優しい偉大な聖  
人の遺徳を讃える創り話と長い間思  
っていました。  
ところが先年、テレビでムツゴロ  
ウ氏こと畑正憲氏が、犬の原種を見  
る為、イギリスに行かれた場面が放

## 2007(平成19)年度 山陰教区 門徒推進員連絡協議会 会計決算書

収入合計 1,025,238  
支出合計 751,714  
差引残高 273,524 (次年度へ繰越)

### ▷ 歳入の部

科目	本年度 予算額	本年度 決算額	対比△減	摘要
会費	370,000	387,000	17,000	
助成金	50,000	50,000	0	教区より
参加費	300,000	455,500	155,500	総会、基推
諸収入	375	113	△ 262	利息
前年度繰越	132,625	132,625	0	
合計	853,000	1,025,238	172,238	

### ▷ 歳出の部

科目	本年度 予算額	本年度 決算額	対比△減	摘要
研修費	300,000	358,076	58,076	総会、基推
広報費	100,000	73,500	△ 26,500	
会議費	80,000	57,898	△ 22,102	理事会、他
旅費交通費	210,000	189,500	△ 20,500	理事会、役員旅費
通信費	20,000	18,980	△ 1,020	
事務費	50,000	53,760	3,760	事務手当、他
回金	0	0	0	第4連区研修会
予備費	93,000	0	△ 93,000	
合計	853,000	751,714	△ 101,286	

平成19年度山陰教区門徒推進員連絡協議会の会計帳簿、通帳を監査した結果、適正に処理されていたことを認めます。

2008(平成20)年4月9日  
山陰教区門徒推進員連絡協議会

監事 名 免 良 廣 秋 印  
監事 景 山 三 郎 印

## 2007(平成19)年度 事業報告

【目標】 御同朋の社会をめざして

【スローガン】 とともに いのち かがやく 世界へ

【教区基幹運動 重点項目】

- ①親鸞聖人のみ教えに学び、全員聞法・全員伝道の門信徒会運動を推進しよう。
- ②過去の過ちと現実を直視し、差別と戦争のない社会をめざして同朋運動を推進しよう。
- ③いのちの尊厳と平等をもとに、一人ひとりの苦悩に共感できる開かれたお寺・教団にしよう。
- ④連研の充実をはかり、門徒推進員の増員をはかる。

期日	事業	備考
4月11日～12日	第4連区連絡協議会	連区研修協議会について 会長、事務局、計2名出席
4月16日	監査会	会計決算について
4月26日	理事会	事業計画、予算案など
6月17日	平成19年度総会・研修会	【会場】出雲広域農済組合 【講師】三明浄信 山陰教区教務所長 【参加者】118名
6月30日～7月1日	第4連区研修協議会	【会場】福山市『アルセ』 【講師】季平博昭 中央相談員 【参加者】96名(内38名)
10月31日	会報編集会議	会報「ともしび」第9号
12月20日	理事会	基幹運動研修会について
1月25日	会報「ともしび」第9号発行	1000部発行 (全寺院、他配布)
2月17日	基幹運動研修会	【会場】出雲広域農済組合 【講師】北島清秀 本願寺研修講師 【参加者】138名

### 第四連区研修会に参加して

出雲組

高橋 栄子

第四連区門徒推進員研修協議会が、去る九月二十七日、二十八日の両日、四国丸亀市の本願寺塩屋別院と琴平町の琴参閣で開かれた。参加者は、九十七名(山陰教区三十八名、内出雲組九名)でした。

研修テーマは、「ともに いのちかがやく世界へ」で、まず、基幹運動中央相談員・宮本義宣師により、基調講演が行われた。この講演は、次の三つについて、その内容を紹介しながら行われた。

第一に、昨年の全国総門徒追悼法要の、ご門主さまのご法話(ご親教)が紹介された。その一部を記してみますと、『この一年を顧みますと、多くの方とお別れいたしました。皆さまもさまざまの思いがありました。皆さまも無阿弥陀仏とお念仏申して、阿弥陀如来のお慈悲の中に、亡くなられた門徒の方々を思い、わが身を省みるご縁とさせていただきます。お浄土は、煩悩のない阿弥陀如来さまのさとり之国であり、迷いの世界へはたらきかけてくださる源です。迷いの人生を阿弥陀如来の救いの中に生き抜くことです。』とありました。第二に、讃岐の



## 2008(平成20)年度 山陰教区 門徒推進員連絡協議会 会計予算

### ▷歳入の部

科目	前年度 予算額	本年度 予算額	対比△減	摘要
会費	370,000	380,000	10,000	1000円×
助成金	50,000	50,000	0	教区より
参加費	300,000	400,000	100,000	総会・基推研 修参加費
諸収入	375	476	101	
前年度 繰越	132,625	273,524	140,899	
合計	853,000	1,104,000	251,000	

### ▷歳出の部

科目	前年度 予算額	本年度 予算額	対比△減	摘要
研修費	300,000	450,000	150,000	講師謝礼、弁 当、会場費等
広報費	100,000	100,000	0	編集会議 印刷代等
会議費	80,000	80,000	0	理事会
旅費 交通費	210,000	210,000	0	理事会、役 員会旅費
通信費	20,000	20,000	0	郵送費
事務費	50,000	60,000	10,000	事務費
回金	0	0	0	連区研修会 特別会計へ
予備費	93,000	184,000	91,000	
合計	853,000	1,104,000	251,000	

## 2008(平成20)年度 事業計画

【目標】御同朋の社会をめざして

【スローガン】ともにいのちかがやく世界へ

【教区基幹運動 重点項目】

- ①親鸞聖人のみ教えに学び、全員聞法・全員伝道の門信徒会運動を推進しよう。
- ②過去の過ちと現実を直視し、差別と戦争のない社会をめざして同朋運動を推進しよう。
- ③いのちの尊厳と平等をもとに、一人ひとりの苦悩に共感できる開かれたお寺・教団にしよう。
- ④連研の充実をはかり、門徒推進員の増員をはかる。

期日	事業	備考
4月9日	監査会	会計決算について
5月7日	理事会	事業計画、予算案など
6月4日	平成20年度 総会・研修会	【会場】松江テルサ 【講師】小玉教雄 元本願寺研修部長
6月6日 ～7日	第4連区 連絡協議会	連区研修協議会について 会長、事務局、計2名出席
9月27日 ～28日	第4連区 研修協議会	【会場】四州教区 塩屋別院、琴讃閣 【講師】宮本義宣 中央相談員 【参加者数】94名(内38名)
10月31日	会報編集会議	会報「ともしび」第10号
12月20日	理事会	基幹運動研修会について
1月25日	会報「ともしび」 第10号発行	1000部発行 (全寺院、他配布)
2月22日	基幹運動研修会	【会場】神門組乗光寺 【講師】北島清秀 本願寺研修講師
3月	三役会/理事会	



妙好人・庄松さんについて、梯實圓師著「妙好人のことは」より、庄松さんの人となりで紹介された。

第三に、築地新報に掲載された、宮本義宣師ご自身の記事、「自殺(自死)について向き合う」を引用されながらのお話でした。

年間三万人の人が、自死するという悲しい社会現象の中であって、自ら死を選ぶ人のこと、遺された人たちの苦しみ、なんで亡くなったんだろうかの答えが出ない。家族はわかるであろうと他人は、思いがちである…。等々お話くださった。そして、このあとの、班別の話し合いの中でも、自死の問題について、多くの意見が出された。自死については、難しいが、自分なりに、生かされている私であることを思うとき、命を大切にとの願いを強くし、お念仏の中に、支えあつていくことの大切さをいただきました。



### 「連研」をつづじて

温泉津組 西楽寺

長野 矩 広

平成二十年は、正月気分がさめない一月十三日、温泉津組第七期「連研」が始まりました。

温泉津組の門徒推進員は六名、活動現場は所属寺や、教化団体などを中心にし活動しております。

第七期「連研」の会場は寺院としており、門徒推進員はそれぞれの会場ごとに担当を割当て進行のお手伝いをしました。

研修の流れは、第六期のときは門徒推進員が話し合い法座の座長、記録係を勤め、進めておりましたが、今回は開講仏讃の司会、調声から話し合い法座の座長、記録係を受講者がそれぞれ役割を決め進めてきましたので、門徒推進員は第一回目からの勤めで、第二回目からは「連研」の進行の補佐となりました。

「連研」を進め、お手伝いをしていくとき、第六期までの「連研」修了者

で中央教修を受講され、新しい門徒推進員が二名誕生したことを聞き喜んでるところです。

「連研」の最終回は特別講師により「まよめの法話（中央教修への誘い）」を聞き終わりました。

最後に慰労懇親会が開かれ、その中で組長、門徒推進員からも中央教修への受講を勧めました。

さらに、新しく門徒推進員になられた二人から中央教修の様子を話していただきました。そしてこの懇親会の中で中央教修を受講したいという「言葉」を聞くことが出来ました。

このように平成二十年は「連研」で始まり、「連研」で終った一年となりました。

私もこの「連研」を通じ、十年前に受講した中央教修のことを思い出し、気持ち新たにしたいところです。門徒推進員の活動の場は所属寺、教化団体などが中心です。

私の所属する寺はほぼ毎月のように法座が開かれますので、聴聞し、お手伝いをしていきますが、聴聞される方が年々少なくなり、準備等を手伝う方も少なくなりました。

「連研」修了者を中央教修への進めだけでなく、所属寺の法座への聴聞を勧めていくことも必要と思いました。浄土真宗は聴聞の宗教「法は人によって弘まり、人によって伝えられます」と聞きました。この大事な教えを担っているのが門徒推進員だと思います。これからも、更に聴聞への誘いを勧めていきたい。

### 浜田組の活動

浜田組 真光寺

長田 幸 男

中央教修終了後、臨時総会において会長に任命されて一年半になります。組には十五ヶ寺ありますが八ヶ寺十六名の会員で構成されています。どこでも言われる事と思いますが、若い方の会員が少なく高齢化が非常に高くなっています。

毎月第一土曜日の午後に連続研修を行って十二月で十回目となります。毎回二十名位の参加者があり、若い方も多数出席されていますが中央教修に何人行かれて会員になられるか未定です。前会長の協力により毎月二回の法語伝道としてお寺に持参したり掲示しています。枚数は毎回二十二枚になります。

組の基幹運動推進協議会には、門推として参加しています。七月には石西ブロック基幹運動推進連絡協議会が覚永寺において行なわれ、九月にはピハ一ラ研修会にも参加しました。また真光寺において石西ブロック仏社研修会にも出席したり、四州教区塩屋別院で行なわれた研修会にも参加させていただき良い勉強になりました。門推独自の行事は、あまり活動していません。それも前記に書いたように高齢化のため半数以下の参加者しか来られないからです。今年には会員の方全員のお宅を廻り、お話をしたり状況の確認をさせていただきました。そして

### 編集後記

会員の方全員が平等になるように門信徒手帳を配布しました。老いて車の運転もできず、足も腰も痛くなり、案内があってもなかなか参加できなくなるので会員を脱退させてほしいという声も数人の方から聞きました。私は理事になってまだ日も浅く分らない事ばかりですが教区、組、会員の意見やお話を聞き、門推活動のために努力し頑張ろうと思います。

親鸞聖人の七五〇回大遠忌法要まで二年余りとなりましたが、私が親鸞聖人の大遠忌のご縁にあうのは先の七百回の大遠忌、小学校に入学したばかりの頃と、このたびとで、二度のご縁となります。そのような中で、親鸞聖人没後の七五〇年の歳月は、単に歴史の時間が経過したということではなしに、私自身にとっての「自我崩壊の歴史的時間であつたか」と味わうことです。幾度となく、「何故親鸞聖人の時代に生まれ合わせなかつたのだらう」と思うことがありました。随分、唯円房を羨ましく思ったものです。が、我執の塊たる自身を思う時、お弟子に加わるどころか、親鸞聖人のみ教えを誤解して、念仏停止の側に立っているとも限らない自分を見出さざるを得ません。そうして、ようやく時機が熟して、「遅ればせながらの七五〇年」と思われるようになりました。このたびのご縁をはずしてはと、思いを新たにしているところです。

教区相談員・朝枝